

<p>学校教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 真理を追究する真摯で、積極的な学習態度を養い、高い知性と豊かな創造力を育てる。 ○ 人権尊重の精神を基調として、規律と責任を重んじ、自他を敬愛する心と社会的な連帯感を育てる。 ○ 健康で強靱な体力と不屈の精神力を培い、進取の気概に富んだたくましい実践力を養う。 		<p>校訓・文武一貫教育</p>		<p>総合評価</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A'</p>		
<p>学校経営方針</p> <p>生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし、将来にわたる自己実現を援助する教育に努める。</p>		<p>◇創造 新しくものを創り出すこと</p>				
<p>目指す学校像</p> <p>新たな歴史を創造し、自校の教育と生徒を誇れる学校</p>		<p>◇敬愛 尊敬し、親しみの心をもつこと</p>				
<p>目指す生徒像</p> <p>夢の実現に向けて、最後まで諦めない心の強い生徒</p>		<p>◇堅忍 つらいことによく耐え忍ぶこと</p>				
<p>目指す教師像</p> <p>生徒を深く理解し心に寄り添いながら、生徒を高め育てる教師</p>		<p>〈文武一貫教育〉を目指し、推進することを通じて、校訓の具現化を図る。</p>				
<p>前年度の成果と課題</p>		<p>本年度の重点目標</p>		<p>具体的目標</p>		
<p>[成果] ・基本的生活習慣及び規律ある学校生活の確立 ・自己の目標達成のための進路選択能力を伸長</p>		<p>主体的な学習習慣の確立</p>		<p>生徒が主体的に取り組む授業の改善や家庭での学習時間の確保</p>		
<p>[課題] ・家庭学習の充実等主体的な学習活動 ・より高い次元での進路開発意識の向上 ・教育活動を通じた社会性・国際性の育成</p>		<p>より高い次元での進路実現</p>		<p>進路情報の提供や個別サポートによる生徒の可能性を最大限に引き出す進路保障</p>		
		<p>社会性・国際性の育成</p>		<p>地域協働による「地域と共にある学校づくり」の一層の推進</p>		
教育活動	評価項目	具体的方策・評価指標等	評価 総括	成果と課題(評価の分析)	課題の改善策等	学校関係者評価他
学習指導	主体的な学習習慣の確立	・家庭学習点検週間を年間3回実施し、昨年度や前学期の個人データ及び集団のデータを提示することで、自身の学習習慣を振り返らせ、学習時間0時間の生徒をなくし、学習習慣を確立させる。 成果指標90%	A	家庭学習点検週間を年3回実施。前年度分や前学期分を示し、1日30分の学習時間の確保を意識させることができた。	学習時間をさらに伸ばし、学習内容の見直しをすすめるための方策を考える。	調査がインフルエンザ発症期と重なり、特異な傾向を示した学年もあるようだが、継続すべき調査・指導である。
生徒指導	規範意識・公共心の向上	・規律と責任を自覚し、公共心の向上を図るため、毎月の一斉登校指導を実施するとともに、毎朝の登校指導で昨年度よりも遅刻の減少を図る。 成果指標80%	A	毎月の一斉登校運動を実施。各学年で平城生として適切な行動がとれていた。地域の挨拶運動にも参加できた。	時差登校を守られない生徒について、個別のサポートを検討し、改善を図る。	遅刻は前年に比べ大幅に減っている。乗車マナーについても苦情は聞いていない。引き続きの指導を望む。
進路指導	能力・適性に応じた進路実現	・進路講演会や進路HR等により、進路意識を高める取組を年間4回以上実施し、生徒個々に応じた進路指導を進め、国公立大学100名以上及び主要私立大学合格率50%以上を目指す。 成果指標80%	A	生徒対象の講演会を昨年度を上回る6回行い進路意識を高められた。私立大学の実質合格確率を大きく伸ばせた。	生徒や保護者の進路意識を早い段階から高める取組を進める必要がある。	講演会での入試情報等を生徒にも保護者にも提供いただけると、ありがたい。更なる実績の向上に邁進して欲しい。
特別活動	部活動・生徒会活動の活性化	・健全な心身の発達のために部活動参加生徒90%を目指す。さらに県内ベスト4以上が10部以上を目指す。生徒会活動支持率80%を目指す。 学校生活満足度90%	B	IH出場をはじめ10部以上が県ベスト4以上の結果を残した。反面、部活動参加率は80%台となっている。	学校HP等を通して、部活動・生徒会活動の意義や魅力の発信に努める。	文化祭の花火は夏の終わりを感ぜさせる地域の行事となっている。文武一貫の教育を今後も維持して欲しい。
人権教育	参加型LHRの充実	・人権教育年間計画における普遍的課題及び個別の課題に関わる内容を整理し、生徒の参加型活動を年間3回以上取り入れ、人権意識の向上を図る。また、職員研修を計画的に実施する。 成果指標70%	B	全校人権講演会や参加型活動を取り入れた人権HRを通して、生徒の人権意識の向上を図ることができた。	普遍的課題及び個別の課題に関わる内容を整理し、教授法を含め検討する。	登校中に人助けをした生徒の善行を聞いた。日頃の教えが根付いていると言える。更なる指導の深化に期待する。
教育相談	SCを活用した教育相談	・SCのカウンセリング(年間17回予定)と連携しながら、教育相談の充実を図る。学校の中でいつでも相談できる環境をつくとともに、いじめの未然防止に努める。 成果指標80%	B	SCのカウンセリングを年間17回実施。教育相談部員も相談活動を行い、相談できる環境を整えることができた。	カウンセリング希望生徒が増えている。SCの来校日を増やす方向を検討する。	最近の生徒はメンタルが弱く、成績不振や人間関係から不登校傾向になってしまうと聞く。丁寧な教育相談を望む。
環境美化	校内外の環境美化活動の推進	・校内清掃活動に積極的に参画する生徒を育成するとともに、年間1回以上保護者、地域と協働した校外美化活動を実施する。 成果指標80%	A	日頃の清掃活動のほか、美化委員、クラブ員を核として、「グリーンアクション平城」等の活動を実施した。	関係者と連携し活動を継続。生徒自らが校内美化に参画する体制を構築する。	グリーンアクション活動は二年目を迎え、地域でも根付いた感がある。更なる盛り上がりと共に目指したい。
情報発信	学校理解の促進と説明責任	・地域と共に歩む学校を目指して、学校HP等を積極的に活用して教育活動の周知に努める。また、周辺地域と連携した取組に関する情報発信も重点的に行い、学校改善に生かす。 成果指標80%	A	学校行事、特に地域住民の方々と共にを行う行事に関しては全て学校HPにて活動状況の情報発信を行うことができた。	学校HPについて、画像等を用いた効果的な情報発信に努め、更なる充実を図る。	学校がAdobeのライセンスを取得しているのは画期的なことだ。存分に活用して、情報発信に生かして欲しい。
地域協働	地域貢献と体験の場の創出	・「地域と共にある学校づくり」を目指し、地域協働の取組を年間10回以上実施し、生徒が地域とのつながりの大切さに気づき、自己有用感を高める契機とする。 成果指標80%	A	地域協働の取組を年間20回実施した。地域とのつながりを実感している生徒も多く、当初の目的は達成できた。	内容をさらに深化発展させ、地域とのつながりを強化できる取組を実施する。	地域とのつながりは密度が濃く、イベントの企画・補助は大いに助かっている。生徒の過負担を心配する。
健康体育	心身共に健康な学校生活を送る生徒を育てる	・学校管理下での負傷による保健室来室者数を減少させるために、疾病やけがの予防法を周知し、健康管理ができる資質を伸長させる。また、体力向上を目指し、スポーツテスト総得点を向上させる。 成果指標80%	B	球技大会での負傷者が多く、来室者数は10%増であった。スポーツテストの総得点は、3年男子以外は向上した。	体育の授業や保健だよりでの啓発を図り、健康管理・体力向上への意識を図る。	教職員の業務量の多さを心配する。生徒も先生も健康を害さないように留意いただきたい。
読書教育	読書活動・図書館活動の充実	・朝の読書タイム、ビブリオバトル、「よむぞう」、図書委員などの活動を通じて、読書への関心を高めるとともに、学習や活動の内容と関連する蔵書の充実を図り、その紹介に努める。 成果指標80%	B	読書活動を計画通り行い、読書への関心を高めることができた。蔵書の充実、紹介により貸出冊数を保持できた。	新刊図書や話題本等のPRに努め、図書館利用の活性化を図る。	ビブリオバトルはユニークな取組である。予算は潤沢ではないだろうが、図書の一層の充実に向けて欲しい。